

令和3年2月定例記者会見

令和3年度当初予算 市長コメント

平素は、報道関係の皆様方には適切かつ迅速な報道を通して、市民の皆様方への情報の周知に努めていただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

本日の案件につきましては、3月議会に提出いたします「議案」のみでございます。

3月議会は、令和3年2月26日、金曜日、午前10時開会となっております。今議会の議案件数は、条例関係6件（制定1件、一部改正5件）、予算関係24件（補正予算8件、当初予算16件）、その他11件の計41件となります。

さて、令和3年度の当初予算についてであります。予算に計上した事業の詳細については、昨日、担当から記者の皆さんに事前に説明をさせていただいておりますので、私からは、予算の編成の考え方と、それに基づいた当初予算の主な事業について説明をいたします。

ここ数年来、「第2次田辺市総合計画」に掲げた将来像「人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺」を実現するため、新庁舎の整備、景観まちづくり刷新事業、武道館や斎場、津波避難施設の建設など、大型プロジェクトに取り組んでまいりました。

そのほとんどが、昨年度までに完成し、田辺市の新たな価値や魅力となっています。その中でも、景観刷新事業で実施した駅前商店街や市街地活性化施設、植芝盛平翁の記念館を併設する武道館については、コロナ禍の影響を受け、外国人観光客や来訪者が著しく減少し厳しい状況ではありますが、感染症が収束を迎えたときには、駅前周辺から扇ヶ浜エリアまでの賑わいを取り戻し地域経済の活性化に繋がる、貴重な地

域資源になるものと期待しているところです。

このように、これまで築き上げてきたまちの基盤を生かし、さらには、田辺市が持つ自然や文化なども有効に活用するなど、今後はソフト面の充実を図ることが地域の活性化に向け重要となります。

こうしたことを踏まえた新年度予算は、新庁舎や津波避難施設の整備など、残る大型プロジェクトの着実な実施はもとより、引き続き、将来の担い手確保のための人材育成や結婚・出産・子育て支援、地域の価値向上やその魅力の発信・交流などの地方創生への取組、あらゆる自然災害に備えるための強靱化施策などに重点を置き、未来へつながるまちづくりを着実に推進していく予算としています。

しかしながら、本年度は皆様ご承知の通り、4月に市長選挙を控えていることから、基本的に政策的な事業や新規事業は6月議会に先送りしておりますので、ご理解賜りたいと思います。

さて、令和3年度当初予算の規模は、一般会計が413億7,000万円、前年度比47億円 10.2%の減、企業会計を除く特別会計の予算総額は227億9,397万4千円としております。

それでは、令和3年度当初予算に計上した主要事業についてご説明申し上げます。

まず、未来へつながるまちづくりの担い手を確保する「**人材育成**」です。本年度で6期目となる「たなべ未来創造塾」を実施し、地域課題の解決をビジネス手法で考える人材の育成とビジネスプランの創出を推進します。また、女性の社会参画を促し起業・創業を支援する、女性向け起業塾を開催し、人材の育成と新たなビジネスチャンスの創出を図ります。

移住・定住施策については、福祉定住促進事業として、U・Iターンし、介護施設や障害福祉施設で働くことを希望される方に、資格取得費用等を助

成し、人材不足である福祉サービス従事者の確保を図ります。また、東京23区からの移住を促進する移住支援の要件を緩和するほか、移住者や地域おこし協力隊員への起業支援、空き家改修支援など、移住者に選択されるまちを目指し、総合的に支援します。

子どもを産み、育てやすい環境づくりとして、産後ケア事業の対象期間を拡大するほか、特定不妊治療については、所得制限を撤廃し、助成回数を増やすなど、充実を図ってまいります。未来を担う子供たちの育成については、学童保育の未実施校から近隣の学童保育所に通うことができるよう、新たに移送事業を実施するほか、小中学校においては、ICT学習を推進するための支援員の配置や木に触れる機会を増やし林業や森林への理解を深めるための児童生徒用の机や教室の床の木質化に取り組みます。

そのほか、感染症の影響で記念式典が延期となった令和2年度の新成人に対して、20歳の節目に十分な祝福ができていないことから、ふるさとへの愛着を深めていただけるよう地域産品を贈ります。

次に、地域の価値を更に高め、地域の活性化を図る「価値向上」です。

本市は、世界遺産と世界農業遺産という二つの世界遺産を有する、数少ないまちであります。世界遺産の保存及び活用に組織的に取り組むため、世界遺産保存活用計画を策定するとともに、指定文化財保存顕彰事業として、鬮雞神社の保存修理に対して補助を行います。

また、引き続き、世界農業遺産の保全と活用を図るため、県及びみなべ町と連携し、梅の海外プロモーション等に取り組みます。また、農業基盤の整備として、上芳養日向地区に南紀用水を送水し安定した用水確保を図ります。

林業振興では、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく森林整備を進めるとともに、水産業では、引き続き水産活性化事業調査を実施し、既存事業の評価・検証や抜本的な見直しを図り、新たな水産振興施策の構築に努めます。

市街地の交流拠点となる「tanabe en+（たなべえんプラス）」では、地域
産品プロモーションや起業・創業支援を行うなど、市街地の活性化を図りま
す。そのほか、災害からの復興を目指す百間山溪谷キャンプ村の整備や日本
最古といわれる湯の峰温泉の公衆浴場の建替えを行い、更なる価値・魅力の
向上と地域の振興を図ります。

次に、本市の魅力を発信し交流を推進する「**発信・交流**」です。

まず、「ふるさと田辺応援寄付金」については、地域産品や本市を訪れて
いただく旅行商品を返礼品として贈り、本市の魅力の発信に努めます。

首都圏を中心に田辺市の魅力・価値を発信するシティプロモーション事業
については、人材育成を中核に据え、「ヒト」を通じた交流をテーマに「た
なコトアカデミー」や低山トラベラーを対象とした「熊野^{リボーン}REBORNプロジェ
クト」を都市圏で開催し、引き続き効果的な情報発信と交流に努めます。

市政情報や魅力を積極的に配信し、また災害や新型コロナウイルス感染症
に係る情報を迅速に提供するため、LINE公式アカウントを運用し、情報
提供・発信力の強化を図ります。

また、コロナ禍で減少している団体旅行やスポーツ合宿等の誘致につい
ては、感染症が収束するまでの間、助成額等を拡充し実施してまいります。

そのほか、本年秋に紀南文化会館を中心に開催する紀の国わかやま文化祭
2021（にせんにじゅういち）や令和5年3月に開催予定の第61回全日本花い
っぱい田辺大会に向けた取組を進めます。

次に、災害から市民の生命と財産を守るため、防災対策・防災力の強化を
図る「**強靱化**」についてです。

まず、南海トラフ巨大地震等による大規模災害発生後、まちづくりを迅速かつ円滑に着手できるよう、事前復興計画を策定します。また、津波避難タワーの整備については、本年度、江川地区で建設工事を実施しますが、これにより市内4か所全ての津波避難困難地域が解消されます。

また、昨年度に続き、被災時の給水対策として給水車を購入するとともに、確実な情報伝達により迅速な避難行動につなげるため、本年度は、本宮地域において、防災行政無線戸別受信機の貸与を進めます。

災害発生時から復旧・復興までの拠点となる新庁舎の整備については、引き続き既存商業施設等の解体撤去工事に取り組むほか、本年度から、庁舎建築工事に着手し、早期完成を目指します。

そのほか、災害時の活動拠点、地域住民の一時避難所となる新庄分団車庫の建築工事を実施します。

最後に、持続可能なまちづくりを支え、まちづくりの基礎・基盤となる、「暮らし充実」です。

障害児・者の生活を地域全体で支えるサービスの提供体制を強化し、総合的な支援を行うため、西牟婁圏域による基幹相談支援センターを設置します。また、日常生活用具の給付事業については、紙おむつの支給対象者の拡充や入浴担架等の基準額の引上げを行います。新型コロナウイルスのワクチン接種については、国県と連携し、全市民を対象として早期の接種に取り組みます。

昨年7月に供用開始した斎場については、使用料改定に伴う負担を軽減するため、新たに所得による使用料の軽減措置を講じるとともに、他市町の斎場を使用する場合の火葬場使用料差額補助金についても、軽減措置分を助成するよう拡充してまいります。

公共インフラについては、平成30年の災害により市道が寸断されている、曲川地区への代替道路となる林道桧葉曲川線、静川地区と皆地地区を迂回路として結ぶ皆地線の開設、橋梁の架け替えを行う上秋津地区の堂の上線、トンネルの改修を行う近露福定線などの整備を引き続き進めるほか、県営事業として文里湾横断道路の整備に取り組みます。

そのほか、児童・生徒の学習環境を整え快適な学校生活を送れるよう、龍神小学校等3校のトイレ改修や地域の生涯学習活動の拠点となる稲成公民館建築事業を進めます。

最後になりますが、本市の財政状況はここ数年安定した状況が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により税収等が減少するほか、市町村合併の支援措置である普通交付税の特例措置が終了するなど、財源の確保はより難しくなり、今後は厳しい財政運営が予測されます。

そうした中でも、多くの課題に取り組んでいくため、行財政改革を更に押し進め、効率的で効果的な財政運営を行い、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら「未来へつながるまちづくり」に取り組んでまいります。

以上で、令和3年度予算の説明を終わらせていただきます。

よろしくお願ひ申し上げます。